

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	バイタルサイン波形を用いた術中アナフィラキシー診断方法の確立		
1. 研究の目的と方法	手術・麻酔中には様々な薬剤や輸血を使用します。まれにこれらに対して強いアレルギー反応（低血圧、蕁麻疹、気管支攣縮などを伴いアナフィラキシーと呼びます）を起こすことがあります。治療開始が遅れると危険な状態となることもあります。このアナフィラキシーの早期診断方法を研究します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年12月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2019年12月1日から2024年9月30日までの間に、東京慈恵会医科大学附属病院中央手術室において、全身麻酔下に手術を受けられた20才以上の患者様。実際にアナフィラキシーを起こした方を対象とします。また、比較のためにアナフィラキシー起こさなかった方のデータも一部使わせていただきます。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、手術名、年齢、性別、身長、体重、検査データ、手術中の電子麻酔記録データ（バイタルサイン波形を含む）、術後の診療録および検査データ	
	(4) 情報の取得の方法	病院で稼働している電子カルテおよび電子麻酔記録からデータを取得します。	
5. 研究の実施体制	あなたの情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 情報は、(2)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 麻酔科学講座
		氏名	坪川恒久
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 試料・情報の管理責任者	木田康太郎	
(4) 共同で研究を実施する機関とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

6. 試料・情報を 他機関とやり取 りすることにつ いて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始日：2023年5月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 麻酔科学講座 研究責任者：教授 坪川 恒久（つぼかわ つねひさ） 電話番号：03-3433-1111（内線 4040） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。